

株式会社ヤマハビジネスサポート

所在地: 浜松市 創業: 1997年 資本金: 1,000万円 従業員数: 536人(男性303人、女性233人) 平均年齢46.8歳 業種: その他のサービス(シェアードサービス)

◆全社をあげてワーク・ライフ・バランスに取り組み、働きやすさとやりがいの両立を推進!

・ヤマハビジネスサポートの財産は「人」。健康経営、子育て支援、女性活躍推進の三本柱で、働きやすく、やりがいのある職場づくりを推進。



新卒採用が契機となり、働きやすく、やりがいのある職場づくりに取り組む

取組前
(きっかけ)

- ✓ 設立当初は急速に業務が拡張し、一部の部署に業務が偏るなど、ワーク・ライフ・バランスへの取組が進められなかった。契機となったのは、2015年からの新卒直接採用で、学生のワーク・ライフ・バランスへの意識、特に子育てと仕事の両立に高い関心を持っていることを実感。
- ✓ 優秀な学生ほど、定年までの会社生活で、様々なライフステージを乗り越え、キャリアアップしていきたいという意欲がうかがえた。

育児とキャリアアップを応援

- ✓ 女性社員は100%育児休業を取得し、復帰している。また、ほとんどの社員が復帰後も子供が小学生に達するまで短時間勤務制度を利用。平成30年度より、子供の通院等、育児や介護に対応するため2日間の特別休暇(有給)を創設。

働きやすく、やりがいのある職場づくりで人材確保

- ✓ HPで各種制度やWLB推進状況、子育てと仕事を両立しながら活躍している先輩社員を積極的に広報したところ、学生の応募者が年々増え、今春は2015年度の1.8倍まで増加。
- ✓ 平成29年2月ホワイト500認定取得。
- ✓ 平成30年5月くるみん認定取得。
- ✓ 平成30年7月えるぼし認定取得。

取組後(効果)

取組内容や仕組み

全社をあげてワーク・ライフ・バランスを推進

- ✓ 各部門が時間外労働削減、有給休暇取得目標を設定し、そのモニタリングと同時に全社員への意識付けのため、外部講師によるセミナーの開催や有給取得推進施策を展開。
- ✓ 労使協調で、個々のライフイベントに柔軟に対応できる制度の拡充に努めており、育児休業制度の期間延長に加えて、子の看護休暇、家族介護休暇、フレックスタイム制の導入などを実施。さらに、事務作業ロボット(RPA)導入による業務時間短縮や育児短時間勤務者のフレックス活用などに取り組むとともに、配偶者の転勤に伴う、社員の同地域配置転換配慮なども実施。
- ✓ 女性社員の管理職登用を目指して、視野を広げることを目的に地元企業間の異業種交流会へ若手女性社員を派遣している。

生産性向上へ向けた社員の向上心の育成

- ✓ グループのシェアードサービスでの貢献をさらに拡大していくため、①定型業務の時間短縮による高付加価値業務へのシフト、②顧客であるヤマハグループ全体の業務効率化、③サービスの質の向上の3点をめざし、全社で意欲的な業務改善活動を展開。